

いこいの家通信

こどもの杜 いこいの家

静岡市葵区城東町二四番一号 電話二四九・三一九〇

令和8年9月1日
No. 529

お母さんの詩



「全てをギュッと抱きしめて」

Sくん(5歳)のお母さん

2021年1月27日、好奇心旺盛なSの人生が始まりました。1歳からのSは、ひとつの場所でひとつの遊びを続けることができず、私はゴールキーパーのような動きでSを守り、全く目を離せませんでした。その頃のSは、頭の中の情報メーターが振り切ると、走り出していたように感じます。

Sのためになることをしたい、その一心で2歳の誕生日から通い始めたいこいの家の親子教室では、なんと座ってパネルシアターに大笑い。初めて活動に集中できました。アドバイスをいただき、広い公園で「歩く!走る走る!歩く!」の声かけでゆっくり歩く練習をしました。走っていつてしまったら、危ないことを強くはつきり伝えました。2人だけの命を守る授業でした。

3歳になり入園して参加した春の遠足では、公園まで手をつないで

歩き、クラスの間と同じエリアで遊び続けるSの姿がありました。先生方の明るい声かけ、Sの笑顔。安心して命を預けられる居場所に出会えたことが心から嬉しかったです。

視野が広がり、自分が思ったようにやりぬきたいこだわりが強くなってきたこの時期。家の中ではSのルーティンがたくさんありました。家電のスイッチを押すことは重要。押せないときには泣いて怒ってしまいました。朝炊き上がった炊飯器のご飯を全ておにぎりになりたいというルーティンも困りましたが、お手伝いをしたい気持ちは嬉しいし。今はこういう時期と、日々を淡々と過ごしていたらあつという間でした。

年中では、自分のやりたいことを言葉で伝えられるようになりました。掲示物を見ることもルーティンのS。いこいの家の正面玄関に貼つてあるチクタクさんのおやきのポスターを見て、張り切って買い、私が袋を持ち、手をつないで歩いていると、「ママ、重たいから僕が持つよ!」とひとこと。小さな頃、どこかに走って行かないようにつない

でいた手は、私に笑顔と元気をくれる優しい手になっていくことに気が付きました。

そして年長になり、スイッチを押したかったこだわりは緩やかになり、自分のことは諦めずに自分でやりぬきたいんだ!というこだわりへと変身しました。先生方の見通しを立てた声かけ、成長に合わせた声かけで、Sは安心して過ごせました。たくさん配慮していただいた先生、いつも明るく楽しく優しいクラスのお友だちみんな、帰りのルーティンのエレベーターに乗る趣味を理解していただいた複合棟の職員さん、共に乗り越えてきたお母さん仲間、本当にありがとうございます。

Sの強みと困り事は、いつも隣り合わせ。ある日Sが言っていた「雨の日も晴れの日もどんな日でもいいに行くよ!」この言葉のように、どんな日もSの全てをギュッと抱きしめて、見守っていききたいと思います。





元職員からのおたより

「 いこいの家との絆 」



大橋 敬子

平成26年～令和3年 施設長

いこいの家を退職して5年余りが過ぎました。長男龍太郎（38歳・知的障がい）との二人暮らしも続いています。

今回は、息子の生い立ちを紹介したいと思います。1988年5月済生会病院で生まれアプガール指数10点満点の元気な男の子でした。運動発達が遅く1歳半でやっと歩き始め足裏が過敏で芝生の上には足をつきませんでした。公立の保育所に5年、小学校は普通級に6年、中学は支援級に3年。その頃やっと療育手帳を取り北養護学校（現、北特別支援学校）の高等部に進みました。高等部は楽しかった様で皆勤賞でした。高等部卒業後は一般事業所、就労A・Bなど多くの職場を経験しました。ところが、30歳になる頃、精神面で不安定になり大声をあげたり、全裸で家を飛び出したり、死にたいと包丁を持ち出したり、夜中眠らずトイレに何十回も通い“死ね”と大声を出す等・・・龍太郎の心が壊れてしまったと、ついて回る事しかできませんでした。精神病院に入院する事でどうにか安定しました。

この不安定はどうか？幼児期・学童期に普通級に入れた事。本人の力以上の仕事場に就かせた事。少しずつストレスが溜まったのではと思います。今さらながら発達支援の重要性を感じます。（あの頃はなかった）

いこいの家に就職し、私自身に障がいのある子が授かり“不安や悩みや絶望”親の気持ちが本当に理解できました。同時に子育ての栄養素をいっぱいもらい少々の事ではへこたれない精神力を育ててもらえました。これからもいこいの家の仲間として繋がっていきたく嬉しいです。





なつまつい



7月30日・7月31日の2日間、3クラスごと夏祭りを開催しました。今年は3クラスずつということもあり、昨年よりもさらに盛り上がっていました。今回の出し物は、ひもくじ、ピンボール、たこやきビンゴ、ヨーヨーすくいがあり、シールのスタンプラリーを楽しみながら、それぞれのコーナーを親子で回りました。シャボン玉やパンどろぼうなどのバスボム、キラキラスティックといった景品をもらい、嬉しそうな子どもたちの笑顔がたくさん見られました。30日にはバルーンアートのボランティアさんも来て、子どもたちがリクエストしたバルーンを作ってプレゼントしてくださいました。後半はクラスごと装飾したおみこしを協力して『わっしょい♪わっしょい♪』とプレイルूमを練り歩きました。待っているクラスのお友だちも掛け声に合わせて鈴を鳴らして会場を盛り上げました。給食も日替わりで気分もアゲアゲ！じゃがバターや焼きそば、ポテト、かき氷などのお祭りメニューをお家の方と美味しそうに食べていました。



ゲーム



給食&かき氷♪



バルーンを
もらったよ♪



写真コーナー



おみこし

